

2019年度 第3期 常設展
「美術館今昔ものがたり」関連イベント

リレー トーク

中條亜希子 (高松市歴史資料館学芸員)

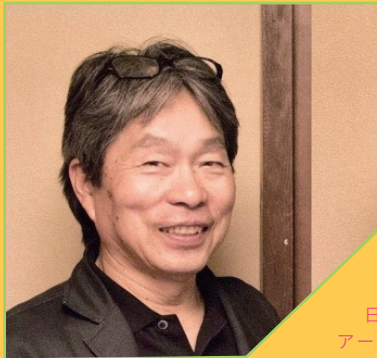
1994年立命館大学文学部卒。株式会社関西デジタルホン(現ソフトバンク)広報課勤務などを経て、2011年から現職。瀬戸内国際芸術祭以前から根付いている香川の素晴らしいデザインについて調査・研究、また散逸した資料の収集を行っている。2016年「心を豊かにするデザインー讃岐民具連とその時代ー」、2019年「心を豊かにするデザインー讃岐モダンへのあゆみー」などの展覧会を企画担当。



1929年
高松市国分寺町生まれ。
1953年に現在の武蔵野美術大学西洋画科を卒業すると、25年にわたり東京の小学校で教える。この間、1959年に自由美術協会会員となり、また1973(昭和48)年の第16回安井賞展で大賞を受賞した。1978年に帰郷し、1988年に移転オープンした高松市美術館では、優れた技法と自由な発想を持ちえた指導者として、新美術館の「洋画講座」で多くの美術愛好家たちに創作の喜びを教えた。



谷本重義 (画家、「洋画講座」講師、安井賞受賞作家)



1974年
四国新聞入社。論説副委員長を経て、2011年から現職。1993年からコラム「一日一言」を11年間執筆。アーツフェスタたかまつ運営委員長を歴任。現在 NPO アーツカウンシル高松理事長。新聞連載「うどん県クロニクル」「探訪かがわの都市伝説」「ハローグッバイ」。著書に「コラム選集 一日一言」、「ことடன் 100年 駅ヒトめぐり」他。

明石安哲 (コラムニスト「四国新聞シニア編集部」)

テーマ

1949(昭和24)年、栗林公園に開館した高松美術館(戦後初の公立美術館/現高松市美術館の前身)の
開館70周年をお祝いして振り返りみる

2019年 **11月3日** 日 13:30~15:00

無料
先着順

トーカー：明石安哲、谷本重義、中條亜希子

会場：美術館1階講堂

定員：先着80名

※当日直接会場にお越しください

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4

TEL:087-823-1711 FAX:087-851-7250



高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM